



定価一圓五錢 一月五圓 三月一十三圓 半年二十四圓 一年四十四圓
発行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日新聞社
電話 六三〇 印刷所 常磐毎日新聞社

創作

死を撰ぶ人々

長瀬 忠夫

そして誘惑と言ふ言葉はあたらないかも知れないが、そう言ふ静江の感情が、そのうした觸手が松野が戀人と云つた未知の女の魅力以上の力強き何物か、男子の拒み切れぬ現實につけ込んで松野の心臓へ伸びかけて来て居るのを松野は甘受して居た。

翌日の××新聞は以外な報道を告げてゐる。
『若き醫學士とダンサーとの戀、夫婦になれぬのを悲觀して、男は生命を取止める模様』

彼の消息を年老いた母と二人で待つ千枝子の歎きはどんなであつたらう。彼女宛に寄越した彼の最後の手紙をひつたくる様にして讀み耽つた。

千枝子よ
俺は死ぬ瞬間迄お前を愛し續けて居たのだつたが今俺は誰にも言ひぬ苦しみを胸に秘めて居る。今更言つたと何になるだらう。千枝子よ。俺を諦めて呉れ、そして幸福な

日早く迎へて呉れ。俺とお前との關係は誰も知る者が無い筈だ。安心して嫁いで呉れ、之が俺の何よりの願だ。嫁ぎ行くお前にとつて俺の死は何よりの贈物だ。沈黙を守つて死んで行く俺の悲壯な死はお前と幸福にするに異ひないし、お前の多幸ならん事を神に祈る。千枝子よ。新聞の記事、世間の噂に迷ふな、俺を信じて呉れ、そして此の俺と死を共にする女を哀れんでやつて呉れ。静江も可愛想な女なのだ。何も彼女に罪は無いのだ。

うらんで呉れるな、時の流れを運命を俺は小さな手でおさへる事は最早不可能になつたのだ。千枝子よ。お母さんを大切に。さよなら

瀧内千枝子殿

敬夫

讀み終へると彼女は母親の膝に泣きふした。俄て泣き腫らした眼を新聞に再び通して、『男は生命を取止める模様』の活字に強く蘇生した自己の生命を見出したのであつた。その反面静江と言ふ未知の女が何んとな自分の親しい友人らしい氣がして薄氣味悪くさい見えた。何事も運命だわ、今となつては如何とも仕難い

文藝募集

のた。彼女は一縷の希望を持つて上京した。今日未知の女静江も彼女の敵では無かつた。親しい友なのだ。彼女が病院の一室に彼等を訪ねた時、醫者は拒んだ。
『今危篤状態なのです、絶対面會謝絶ですよ』然しやがて異常に緊張し蒼白の顔の千枝子の歎願が叶つて病床に敏夫の側にひれ伏した時、パツチリ目を開き微笑さへ浮べた。その次の瞬間魂は昇天した。最後の別れをしたし、今迄生きて居て呉れたに違ひないと彼女は思つた。二人の魂に幸あれ。
悲劇は之に止まらなかつた。その翌日可憐な千枝子の魂をも悪魔は望んだ。チャイナリストの哀れな

三十一回生徒募集

躍進日本の女性に!!
婦人の職業として、家庭の衛生學として産婆看護婦を御奨め致します
それには成績の最もよいと定評のある

平南町 産婆看護婦學校へ

◆申込み成るべく早く
◆新學期の開始は四月八日より

平産婆看護婦學校

校長 清野 キヨ
(電話三〇七番)

産婆看護婦 募集

願書締切 四月五日迄

平町一丁目

平町搔植小路一番地に新築移轉す

石城 産婆看護婦學校

電話三五七番

生徒募集

- (一) 本科 五十名 (二) 裁縫専修科 百名
 - (三) 専攻科 三十名 (四) 師範科 二十名
 - (五) 本科裁縫専修科第二學年補欠若干名
- 文部大臣 認可 藤田女學校
一、願書受付 三月三十日まで
二、詳細な學則請求ノコト
平町田町(電話三二一八)

古レコードと蓄音器買入

皆様の御家庭にて既に御不用となつたものでも何處の店よりも高價に買ひます

平町三丁目

天地堂

電話五八九番

第一學年 臺百
第二學年 若干名
受驗科生 若干名
出願期日 四月四日まで
新學期 四月四日より

生徒募集

平町城山 磐城青年學校
學費低廉、奨學金の給與、基礎益々鞏固、内容年と共に充實、鐵道其他受驗講座特設

三月 雛人形陳列

桃の節句が近づきました
可愛いお嬢さん方のお祝には
フクダヤの雛人形
本年の特製品、セツト物
古代人形、童謡人形等々
あらゆる種類を集めました
ぜひ御一覽下さい
◎一人物箱入 三十錢 ヨリ
◎二人物箱入 六十錢 ヨリ
◎御殿付内裡 壹圓 ヨリ
◎セツト物 百圓迄
其他いくらのでも揃つて居ます

フクダヤ祝品部

平二丁目

スガノヤの...

三月 ヒナ人形 陳列賣出し

本年新型人形
オボコ人形
變りヒナ
小道具類一式
十五人揃セツト

各種豊富に陳列致しました
是非御來店の程お待ちして居ります

平町四丁目

スガノヤ提灯店

電話九五番

◎夜十時迄

第四校は西側

昨日の委員会で決定

公會堂敷地未し

平町第四小學校敷地委員会は昨日同日町會議室に開かれたが總坪數一萬八千坪中第四小學校敷地と町營グラウンドに折半し小學校敷地は西側の三崎地内に、グラウンドは東側の菱川地内に定めその中間に元博覽會跡町有地から延長した幅員七間の通學道路を造ること大體決定したがこの通學道路は十一名の兩側地主より三間宛の寄附に俟つべく近く交渉を開始する旨尙過般豫算町會本會議で豫算面より撤回、正副議長外五名の敷地選定委員を擧げて一任した公會堂敷地問題は目下敷地買價價格の比較其他の調査中で今後敷地の會議を経るにあらざれば意見の決定を見るに至らぬ模様である

大工町の踏切に

近く跨線橋實現か

十日鐵道側町と懇談

平町大工町踏切改修運動は十數年前から町會で決議し促進運動を起し、あつたが鐵道側の豫算の都合上常に葬られて今回及ぶため踏切を利用する附近一帯の住民からも猛烈な改修陳情を再三續けられて來たが愈々本年度内に平小鐵道の實現を目前にして敷設後は益々構内が狭少となる實狀に鑑み、鐵道側でも大工町から元品川白煉瓦工場の方へ迂回して仲間町に至る馬蹄型の跨線橋を造ることに大體決定を見たため十日水戸保線事務所の八重樫技手等が來町町當局と實施に關する協議した

さらば

母校よ

平商卒業式

平商業學校の第十六回卒業證書授與式は今日十二日午前十時より學校長の擧式の挨拶に始まり、國歌合唱、勸語捧讀、卒業證書授與及び賞狀賞品授與に次ぎ學校長報告、左記青沼平町長の懇篤な告辭あり、來賓代表町會議員鈴木光吉氏の祝辭、在校生總代金成信一郎君の送辭あり卒業生總代岡田彦太郎君答辭を述べ、卒業生保護者を代表し町會議員根

本品藏氏の謝辭に次ぎ校歌を合唱、晴れの卒業式を終り六十五名の卒業生は直ちに實社會への希望の第一歩を踏み出した

告 辭

本日福島縣平商業學校第十六回卒業證書授與式を擧げられるに方り卒業生諸子の前途を祝福し且つ冀望を述べに衷心より欣快に堪へざる所でありませ。本校は開校以來に隆昌に赴き今回即ち第十六回卒業生を合はせて其數九百八十四名に達し、まして此等の校友は何れも社會の各階層に活躍し國運の進歩發展に寄與せられつゝあるは寔に慶祝に堪へざる次第でありませ。而して本日卒業證書を受けられました諸子が本校に入學以來懇篤なる教職員各位教導の下に克く本校教育の精神を體し修學の功を積むこと五星期國家有爲の實業家として活動するの素地を築き卒業の榮譽を荷ひたることは獨り諸子一身の光榮なるのみならず邦家のため慶賀措く克はざる所でありませ。之れ元より諸子が日々勉學の結果なることは申す迄もありませんが諸子のため多大の理解を持つ父兄の慈愛と恩師の賜であることを忘れてはなりません。惟ふに軌近裁帝國は世界的地位益々高く國威顯揚洵に刮目するものあるに伴ひ

現下情勢は有史以來の重大時機を招來いたし國民生活は多年に亘り不安の脅威を受け國家經濟の難局に直面し加之思想界の混惑と國際間の難關は最近に於ける二・二六事件の如き我國未だ曾て有らざる大不祥事の勃發を見るに至り眞に國歩艱難の非常時であります。此際我々國民に待つところのものはいくば至誠以て時局に善處すべき忠君愛國の協力一致中正にして穩健なる國民精神の作興に努に自律創造の精神と刻苦精勵國民生活を更正し國力の充實を圖らねばならぬと信するものであります。故に之の非常時日本の打開は卒業生諸子の如き新進氣鋭の青年に期待すること極めて多なるものありと信じます。斯る時代に業を卒へ希望多き活社會に躍進する諸子は深く思を致し將來直に社會の實務に就くと進んで上級學窓に學ばんとするを問はず最も堅實なる道理を辿つて一路前進せらるゝに於ては必ずや光輝ある使命を果し得べく依て以て自力更生の新天地を開拓し得らるゝことと信するのであります。卒業生諸子須らく帝國の現在と將來に鑑み健全有爲なる中堅國民たらんことを急願社會の誘惑を排撃し一層身體を強健にし純眞にして激濁たる青年の氣魄を失ふこと

なく多重なる前途に向つて勇往邁進國家有用の材となり上は皇恩に報ひ奉り下は師父の期待に副はれむことを切望して已まぬものであります。終りに諸子に對し一言せむとするものがあります本校は縣立磐城中等學校の舊校舍を襲用し今日及びびしが建築以來三十有餘年の久しきに及び改築を要する時機に近つき本町に於ても茲に見る所あり今や具體的調査を進行せむとする機運に際會致しましたから昭和十一年度に於ては之れが調査宅了を見るに至るべきを想像

平商卒業

出身町村

別稿卒業式を了した平商出身六十五名の町村別左の如くである

平二〇 内郷一〇 好間七 湯本六 草野 神谷 赤井各三 小名濱三 來一 江名一 植田一 四倉一 上小川一 錦一 平窪一 大浦一 廣野一 大久一 平沼一

大敷網が始る

新潟から漁夫入濱

豊間漁業組合は愈々大敷網の投網期に入つたので今回雪の新潟から約百名の漁夫を雇入れたが四倉、江名、小名濱等の各濱もボツ／＼準備に着手して居るので不漁續きの石城各濱も漸く活氣を呈して來た

女子師範

一部合格

磐女受験生

過般施行された福島女子師範學校の入學試験合格者は今日十二日發表されたが磐城高等女學校よりの合格者左の七名である、尚同校卒業生大谷澄子さんは東京高師臨時教育養成所との難關を突

教員異動

首實驗

石城郡小學校長會は今日十二日午前九時から平第一小學校で打合會を開き古河本郡擔當縣視學、篠山會長が各小學校と個々面接の上新學期職員異動に關し協議した

富民協會の

石城支部發表

郡農會で奔り石城縣農會では今回富民協

十五錢高値

平倉庫共米

平農業倉庫は昨日十一日午後三時から共同販賣を執行、四等二百二俵、五等五百五十七俵、等外二百六俵、計九百六拾五俵を入札に附したが四等建値最高拾一圓四拾五錢、最低拾壹圓廿二錢で落札した、農家持米の手離し薄いため市場は品不足で前日に比較して一俵につき拾五錢の高値を見せた

運輸所長視察

平驛附近各驛の設備品調査の爲め水戸運輸事務所永澤所長は來る十六日から三日間に亘つて各驛の現況視察を行ふ

縣診療日割

縣衛生課診療班の本郡内出張日割は左の如し

△荷踏夫廿一日△貝泊廿二日△石住村廿三日

櫻の季節に

ガソリン車運轉

お蔭で観櫻客が多いと見られる

記録破りの大雪に祟られた平地方もそろそろ櫻花の季節が到来するので平野では早くも松ヶ岡公園団体客誘致の準備に着手した、本年は櫻花満開の四月十六日からガソリンカーが運轉されるので臨時列車は十九日の平野助川間一本のみにとどめるがガソリンカーの出現で平野附近の観櫻客は近年に

山口博士 巡回診療

仙臺簡易保険健康相談醫所 醫學博士山口友孝氏は來廿四日湯本、廿五日小名濱町で巡回診療を行ふ

黒字づくめ

平局の好成績

平野郵便局で去月中に賣つた切手代は三千八百十七圓二十九銭、印紙は七百十三圓九十五銭、昨年同期に比較すると切手は千五百五十八圓、印紙が三百四十九圓の何れも大激増、更に市外通

詩人雨情氏の半折

平町で即賣會開催

會場は住吉屋本店大廣間

もと詩南社同人吉田甫氏等發起、詩南社後援で拾四日正午から午後八時迄住吉屋本店大廣間に於て文壇の大家民謡詩人野口雨情氏の民

とて盛會を豫想する一般の參觀も自由

神輿渡御

青年團協議

平野青年團は來る十六日午後六時から住吉屋本店で幹部會を開き縣社子館倉神社祭禮神輿渡御に關する件其他について協議する

酌婦は死んでも

嫌と二階から

飛び降り逃走

豊岡村大字豊岡料理業實頼亭こと鈴木房次郎方酌婦管野千代子(九)は常々家業の辛さを嘆いてゐたが十日午前五時頃平野宛にひらかなで「妾はこんな稼業は嫌でたまりません、死んでも死にきれませんから借金は後で返します」と葉書を寄せ

貸金取立に行つて

女優に誘惑される

×ミイラ取が

×ミイラになつた話×

栃木縣黒磯町大金太一(三九)は義兄の西白河郡西郷村宇虫笠大倉甚藏から依頼されて二月上旬同町に興行中のレゾー園天勝に貸金の請求に行つたまゝ姿を晦まし

たが「或は天勝一座の女優某に誘惑されてゐるらしい」と思ふが天勝は茨城方面で興行の後平方面に興行



謎の人物

今夜は晴明日も同様

明日の部

後五、三五 燭邊物語「人の氣の盛衰」宮崎道郎
後六、〇〇 子供の時間
少年音楽講座「吹奏樂海軍軍樂隊」お話内藤清五
後六、二五 基礎英語講座
村岡博
後七、三〇 科學趣味講座
浦本政三郎
後八、〇〇 講談「木村重成」神田松鯉
後八、三〇 この花開「先代萩堀江藝妓」堀江演舞場中繼

舉動不審男

意外の大家か

四倉署の捕物

四倉署員が十日午後十一時頃岡町本通を密行中同所を徘徊する舉動不審の男を誰何、本署に連行して取調を行つてゐるが右は前科十一犯の仙臺市伊勢屋横町五沼田喜一と稱してゐるが最近の足取りが判然しないため目下四倉署では仙臺署に照會嚴重に取調を續行してゐる

夫の死から得た

寡婦の手當金騙取

呆れた肉身の黄金亡者達

湯本町雜貨商松川鶴治の養子伊吉(三九)君は愛妻あいな(三九)さんと今から三年前満ち満ちの電気工夫として睦まじい生活を送る中伊吉君は昨年十一月過つて感電し無慘にも即死したのであ

平野業紹介所報告

- △ 人を求める方
- △ 雑役 廿才前後 尋卒
- △ 給料面談
- △ コック見習 廿才迄 尋卒 月給五圓
- △ 漁夫 五十才迄 月給卅圓
- △ 農夫 廿五才迄 給八圓
- △ 回職を求める方
- △ 電工 廿三才 高卒
- △ 自動車助手 廿才 高卒
- △ 小守 十一才 尋修
- △ 洋服裁縫 卅六才 尋卒



七〇 お鷹匠の宿
青木彌太郎は八百松を説きつけて自分の黨中に加えた。八百松は竹を割つたやうな氣性、少しもいやなところはな、公方様のため、外國人を打ち拂つて死なうと決心した。譲夷を主張したものは勤王家ばかりではない、幕府の家臣にも青木の如きものもありました。しかしこれを實行するには運動費が要る、それをあつめるには八百松の如きならぬものも必要、松は折々青木の屋敷に來てはこの事についての協議の席につらなり、また運動費をあつめることについて大いに畫策する、翌年の三月のこと、割下水に屋敷のある旗本本多の次男孫三郎と二人で淺草の奥山に遊びに行き、櫻屋のお花をつれ出して吉原の夜櫻を見に行つた、大層な人出です、寛保元年初めて吉原に櫻を植えて、それ以來毎年花時にはこゝに櫻を移植して客を引く、もうこの頃は幕末のことで吉原も大分さびれてゐるが、まだ江戸の氣分がたゞよひ居ることゝ、この土地は別世界、すると八百松が

七〇 お鷹匠の宿
青木彌太郎は八百松を説きつけて自分の黨中に加えた。八百松は竹を割つたやうな氣性、少しもいやなところはな、公方様のため、外國人を打ち拂つて死なうと決心した。譲夷を主張したものは勤王家ばかりではない、幕府の家臣にも青木の如きものもありました。しかしこれを實行するには運動費が要る、それをあつめるには八百松の如きならぬものも必要、松は折々青木の屋敷に來てはこの事についての協議の席につらなり、また運動費をあつめることについて大いに畫策する、翌年の三月のこと、割下水に屋敷のある旗本本多の次男孫三郎と二人で淺草の奥山に遊びに行き、櫻屋のお花をつれ出して吉原の夜櫻を見に行つた、大層な人出です、寛保元年初めて吉原に櫻を植えて、それ以來毎年花時にはこゝに櫻を移植して客を引く、もうこの頃は幕末のことで吉原も大分さびれてゐるが、まだ江戸の氣分がたゞよひ居ることゝ、この土地は別世界、すると八百松が



花「連れて行つておくんないよ、女が女郎買ひに行くのも變つてゐて宜いだらう」
松「そいつは面白い、では孫さん千住へ飛ぶことにしやう」
と、こゝで山人打ち揃つて

花「連れて行つておくんないよ、女が女郎買ひに行くのも變つてゐて宜いだらう」
松「そいつは面白い、では孫さん千住へ飛ぶことにしやう」
と、こゝで山人打ち揃つて

土手を下り田圃を越えて千住へ入り、馴染の遊女屋海老ながら大戸がおりて寂然としてゐる、これを見て本多孫三郎が
孫「静かだな、これこゝを開けろ」
とん／＼と戸をたゞいたガラリ響りをあけて首を出した、若い衆の徳藏
徳「いらつしやい、孫さんに松見いでございますかえ、オヤそふにおいでになるは櫻屋のお花さんでございませぬ」
松「何だ、馴染の客でもことばると、取込みがあるといつたな、主人が死んだか」
徳「イエ、そんなことではございませぬ、實はお鷹匠のお宿になりましたに、ついでお客様をおことわり申して居ります」
松「お鷹匠といへば公方様のお〇をあつかうものだから、そのお鷹匠がどういふわけで女郎屋へとまるのだ、他に宿屋がいくらもあるだらう、一體そのお鷹匠は何人泊つてゐるんだ」
徳「お二人でございます」
松「何んだ、二人だと二人でこんな大きな家に泊つてゐるのか、贅澤な奴だ、定めし女には揚代金をつけてうまい物でも食はして遊んでゐるだらう」
徳「ところが大違ひの鬼子母神どうだ有馬の水天宮エ、わけてございませぬ」
松「そのわけを聞かぬえ、今夜は千住へ遊びに来たんだ、骨折に来たんぢやねえよ」
徳「困りましたな、ではお話し申しますが、お鷹匠様は公方様のお鷹を据えておるでございませぬ、大勢のお客様が居るとお鷹が驚くさうで、若しお鷹はさわるやうなことがございませぬと私共が迷惑をいたします、それで今夜はお客様をお上げ申さぬことにいたしました、ごさいます」
松「飛んでもねえ奴だ、たかの爲に人間が邪魔にされては人間一同の耻になる、今夜はこゝへ押し上つて藝妓をあげてさぐからさう思へ」
といひつゝ、松はヒラリと店へ飛込んだ。

すことにいたしてございませぬ」
それを聞いて松が
松「何だと、馴染の客でもことばると、取込みがあるといつたな、主人が死んだか」
徳「イエ、そんなことではございませぬ、實はお鷹匠のお宿になりましたに、ついでお客様をおことわり申して居ります」
松「お鷹匠といへば公方様のお〇をあつかうものだから、そのお鷹匠がどういふわけで女郎屋へとまるのだ、他に宿屋がいくらもあるだらう、一體そのお鷹匠は何人泊つてゐるんだ」
徳「お二人でございます」
松「何んだ、二人だと二人でこんな大きな家に泊つてゐるのか、贅澤な奴だ、定めし女には揚代金をつけてうまい物でも食はして遊んでゐるだらう」
徳「ところが大違ひの鬼子母神どうだ有馬の水天宮エ、わけてございませぬ」
松「そのわけを聞かぬえ、今夜は千住へ遊びに来たんだ、骨折に来たんぢやねえよ」
徳「困りましたな、ではお話し申しますが、お鷹匠様は公方様のお鷹を据えておるでございませぬ、大勢のお客様が居るとお鷹が驚くさうで、若しお鷹はさわるやうなことがございませぬと私共が迷惑をいたします、それで今夜はお客様をお上げ申さぬことにいたしました、ごさいます」
松「飛んでもねえ奴だ、たかの爲に人間が邪魔にされては人間一同の耻になる、今夜はこゝへ押し上つて藝妓をあげてさぐからさう思へ」
といひつゝ、松はヒラリと店へ飛込んだ。

吸入用酸素純度 99%
度量器
モノサシ
ハカリ
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
寒暖計
体温計
關内藥局
電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

成田山大護摩 修行團體募集

一、四月三日(神武天皇祭)午前七時三十分分發(金曜日)翌日午前十時頃成田解散會
費 金八圓五十錢也
但、片道汽車賃、車中辨當及茶菓子代、成田宿泊料及茶代祝儀、大護摩修行諸費、箱札料一等坊料及席上諸祝儀
外二宗吾靈堂御護摩料共
但成田、宗吾間電車賃ハ御自辨ノ事
尚本年ハ特二十五周年記念品ヲ呈ス
一、申込期間 三月二十七日迄會費御持參御申込ノコト
大新榮 講
講元 井上貞治郎
平町五丁目(電話六六番)

おでんと
やさとりで
お氣輕に 一平
五日 開店 一平
出前迅速 谷口通
電話二六三番

有給社員募集

一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス
固定給ノ外歩合アリ
一、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス
但シ誠意奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アラレタシ

野村生命保險株式會社
磐城出張所 平町長橋町四七
主任 福島 健之